



陸上自衛隊 第2飛行隊

道北の防衛・警備を任務とする第2師団。その中で唯一の飛行部隊 第2飛行隊。第2飛行隊の役割は大きくわけて二つ。師団の立体的戦闘力の発揮に寄与すること、災害派遣等においては、地上部隊と連携し災害発生状況の偵察や人命救助活動をおこなう民政の安定に寄与すること。

戦前に開港された「愛国飛行場」のひとつが現在の第2飛行隊が使用する飛行場で、日本最北端の自衛隊の飛行場である。

また、1つの飛行場を1個の飛行隊で使用しているのはここだけなので、飛行場の運用管理も全て第2飛行隊が行う。ランウェイは芝生。いわゆる「グラスランウェイ」だ。そして旭川といえば「雪」…。

少年工科学校（現：高等工科学校）出身の横川隊長率いる強者たちが、航空偵察、射撃の観測および空中機動、航空輸送等を実施し、師団司令部及び師団諸部隊の行動を支援している。



第2飛行隊長
2等陸佐 横川文彦

第2飛行隊は、陸上海上航空各自衛隊の飛行部隊の中で日本の最北に位置しています。日本最北の島である礼文島をはじめとした離島がある道北の広範囲な地域を担当しており、冬季においては降雪の日々が続く厳しい気象等を克服しつつ、災害派遣などの飛行任務を遂行している部隊です。

また、陸上自衛隊の中でも最新鋭の装備を保有する第2師団の部隊として研究任務も併せて実施しており、陸上自衛隊唯一の部隊実験を行う師団飛行隊でもあります。

これからも、道北地域の防衛警備（北鎮）と研究任務（先進）を担う飛行部隊として、航空安全を確保しつつ、隊員が一致団結し、あらゆる任務に「即動完遂」して参ります。



離発着

夏と冬のダウンウォッシュ。地面が見えないため、両腕につけた赤と青の誘導具で航空機を誘導。冬は雪煙の中で飛行姿勢や高度等の判定ができなくなるスノーアウト状態になる。また、ホワイトアウトという白一色の視界の中、飛行姿勢や高度等の判定ができなくなる状態にもなる。一方夏は地面の砂や埃が激しく舞い上がる。



板を雪中に埋めて被せた白いシートが飛ばないようにする。板の埋め方にも熟練の技が必要。

UH-1Jの白偽装完成



OH-6Dの白偽装完成



偽装

夏は迷彩の偽装。冬は白色の偽装をする。白色の偽装は改良に改良を自分たちで重ねた手作りの物。縫い目ひとつひとつに心が込められている。



OH-6DとUH-1Jによる編隊飛行



第2飛行隊保有航空機諸元
OH-6D / 観測用ヘリコプター
用途 / 航空偵察・空中監視・射撃の観測 等
最大速度 / 281km/h
UH-1J / 多用途ヘリコプター
用途 / 人員及び物資空輸・捜索及び救難・空中消火
最大速度 / 217km/h



笹マーカー。ランウェイに雪が積もっても見え易いように。旗を立てると風向きによっては棒と直線になり見えなくなるため笹を使う。これなら360度になびくので確認がしやすい。



整備

整備をする隊員は、本当に愛しそうに航空機に触れる。

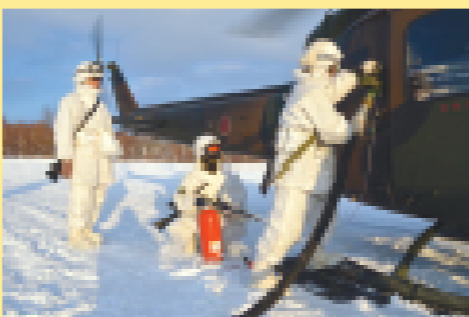


部隊の命とも言える有線構成。「手がかじかむ」なんて言葉は通信手の辞書にはない!



78式雪上車。飛行場を圧雪する。雪上のでこぼこを直に感じる程よく揺れる。雪上車が入れない様な場所では、スキー板で圧雪する。

第2飛行隊沿革	
S29. 1.10	第2管区航空隊及び第2航空勤務隊発足 このとき航空機の充足はまだ、ない。
4.30	連絡航空機「L-5」2機を充足
9.10	第2航空隊と改称
S37. 1.18	第2飛行隊と改編、第2管区から北部方面航空隊の隷下となる。
S49. 3	観測ヘリコプター「OH-6J」初充足
S50.11.28	多用途ヘリコプター「HU-1B」初充足 多用途ヘリコプターを装備する最初の師団飛行隊となる。
S51. 3.25	師団飛行隊「B」の編成完結
S56.10.15	観測ヘリコプター「OH-6D」充足
S61	多用途ヘリコプター「HU-1H」充足
H6. 3.28	北部方面航空隊 第2飛行隊廃止 第2師団 第2飛行隊新編、師団隷下となる。
H7. 3.28	飛行隊改編完了
H16	創隊50周年
H18. 1. 10	無事故飛行等の功績により、陸上幕僚長より第2級賞状受賞



燃料補給

継続した任務遂行のためには必ず燃料補給が必要になる。速やかに航空機を離陸させるための隊員たちの連携プレーは見事で見とれる。



闘うコックさん



食事

なんだかんだ言ってもお腹が空いたら何もできない。食事で身体を癒し、給養隊員の心使いで心を癒す。

